

## □ アナリスト週間相場予想

		
江崎		
西		

## Pick up News

### 〔注目スケジュール〕

- 8/1 米雇用統計、米ISM製造業景況指数  
米商品先物取引委員会 (CFTC) 建玉報告
- 5 米ISM非製造業景況指数、FOMC
- 7 米新規失業保険申請者件数  
英中央銀行 (BOE) 政策金利発表  
欧州中央銀行 (ECB) 政策金利発表
- 8 CFTC建玉報告

## □ テクニカル分析 (担当: 西 勝之)



チャートは東京金先限日足にボリンジャーバンドを被せたものである。先週後半に3274円をネックラインとしたWTトップを形成後、更に下落している。昨日(7/31)引け時点で今度は7/9安値3194円と7/24安値3207円をネックラインとした変形トリプルトップを完成した。単純パターン分析では綺麗なリバーサルフォーメーションを示現しており、目先のサポートライン3120円所(4月~6月中旬レンジ上限近辺)をブレイクダウンした場合は3040円までの下落波動(3200円~3360円の波動を3200円から下方に倍返し)を予測することができる。しかもこの目標値は単なる波動分析上の話であり、日足チャートのボトムを探すと3120円より下に位置するはっきりしたサポートラインは5/30の2975円までない。加えてボリンジャーバンドに目を移すと現時点で2σと-2σの拡散が僅かながら肉眼でも確認できる。現在値3186円から-2σライン3162円までの値幅は僅か24円であり、今後日足が-2σラインに乗っかるような事があれば下降バンドウォークに突入してしまう事になる。そうなった場合チャート上は2900円割れも視野にいれた大幅な下値リスクを認識しておく必要があるだろう。3207円を確り回復できない限り当方即売りを推奨。

白金は金程明確なサインはテクニカル上出ていないが、先週に引き続き売り方針継続である。(8/1 前引け現在)

## □ ファンダメンタル分析 (担当: 江崎 和弘)

金相場は今晚の米雇用統計による為替の変動、そして債券市場の反応がすべてと言っても過言ではない。雇用統計が市場予想を上回る好内容となれば、これは素直にドル買いにて反応が表れるものと思われるが、金利の見通しに関してはそれほど単純でもなさそうである。まず、5日のFOMCでは政策金利は据え置かれるものと市場関係者は判断しており、今回の雇用統計の結果は次回9/16のFOMCの動向を占う要素となる。その際にポイントなのが原油相場の調整。高値から20ドル超の下落となっていることで、インフレ懸念はやや後退しており、信用不安が燻る中で、果たして早期利上げに転じるほどの確証が得られるかどうかという点が微妙である。

ドル高は金相場にはマイナス、そして金利高もマイナスとなるのが通常だが、まずは結果を見ないことには判断しようがない。仮に内容が良ければ、ドル高となって原油相場の下落を促すことも期待され、金相場には下げ圧力が加わるのは明らかだが、その後のFOMCで利上げ期待が後退すれば逆回転が起こりかねない。そして、雇用統計そのものが悪かった場合には、失望売りからドル安、原油高、金相場の上昇という流れが見えてくる。

雇用統計の前哨戦ともいえるADP雇用報告は市場予想よりは良い内容であった。続く、新規失業保険申請者件数はやや失望をもたらした。予想は難しい状況で、積極的にイベントリスクを取る場面でもないコメントしておきたい。なお、白金に関しては自動車販売不振(触媒需要減少)、宝飾需要減退と、やはりファンダメンタルズが弱い。こちらは基本的に売りをベースにすべきで、買いはデイトレに限定するのが無難と判断しておきたい。

◆ 添付されている『取引の重要事項』をかならずご確認ください。

許可RE0027(許可取得日08/08/01)

## ▼商品先物取引のリスクについて

商品先物取引は、相場の変動により利益も損失も生ずるおそれのある取引です。また、取引本証拠金の額に比べて約15倍から約40倍という著しく大きな金額の取引を行うため、預託した取引証拠金の額を上回る損失が発生することがあります。

## ▼取引証拠金とレバレッジについて

商品先物取引は委託に際して取引証拠金の預託が必要となります。お取引を始める際に預託する取引本証拠金の額は商品により異なり、最低取引単位(1枚)あたり13,000円から210,000円でお取引いただけます。但し、実際の取引金額は取引本証拠金の額の約15倍から約40倍という著しく大きな額になります。また取引証拠金等は、その後の相場の変動によって追加の預託が必要になることがありますので注意が必要です。またその額は、商品や相場の変動によって異なり、一様ではありません。  
※上記取引証拠金は2008年8月1日現在の金額です。

## ▼取引手数料について

商品先物取引の委託には委託手数料がかかります。その額は商品によって異なりますが、最低取引単位(1枚)あたり1,154円(往復)から18,270円(往復)となります。  
※上記委託手数料は2008年8月1日現在の金額です。

## ▼自己判断

この資料は投資の参考となる情報提供を目的とするものです。投資の決定はご自身の責任と判断でなされますようお願い申し上げます。

※エイチ・エス・フューチャーズは日本商品先物取引協会に加入しております。  
※当社の企業情報に関するディスクロージャー資料は当社(本社・支店及びホームページ)又は、日本商品先物取引協会(本部・支部及びホームページ)で閲覧できます。

※お取引に関する苦情・ご相談は、下記の窓口にて承っております。

エイチ・エス・フューチャーズ 苦情相談センター

TEL: 0120-50-4288

東京都新宿区西新宿5丁目3番2号

日本商品先物取引協会 相談センター

[本部]

TEL: 03-3664-6243 東京都中央区日本橋小網町9番4号 日商協ビルディング3階

[中部支部]

TEL: 052-220-1652 愛知県名古屋市中区丸の内1-16-2 中部大阪商品取引所2階

[関西支部]

TEL: 06-6543-8502 大阪府大阪市西区阿波座1-10-14 関西商取ビル4階

商品取引員 エイチ・エス・フューチャーズ株式会社  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿5丁目3番2号 TEL: 03-3299-0301(代表)